

平成31年度県政推進指針のポイント

1 基本的な方向性

＜現状と課題＞

少子高齢化、人口減少の流れが止まらない中、早急にこの流れを緩和し、歯止めをかけていかなければならない。人を大事にし、魅力ある仕事をつくり、活力ある地域をつくって、定住者を増やしていくことが急務となっている。

そのような中、世界的な流れとして先端技術が広がっており、世の中のありようまで変えようとしている。我々も、地域課題を解決するためにIoTやAI、ロボット、ドローン等の先端技術に挑戦し、活用することが必要になっている。また、県内中小企業による人工衛星の開発など、新たな産業のフロンティアを切り拓くことも大事である。

加えて、近年は、数十年に一度と言われるような大規模災害が毎年のように発生しており、南海トラフ巨大地震への対応とともに、これまでの治山・治水対策を検証し、抜本的な対策を講じて、県民の命と暮らしを守る強靱な県土をつくっていかねばならない。

これらの課題は、長期的・総合的視点が求められるものであると同時に、今、全力を傾注して成果を上げていかなければならない喫緊の課題でもある。

このため、「安心・活力・発展プラン2015」を基軸にして、取組を加速前進させるものとし、加えて、今後の情勢変化にも臨機応変に対応していくものとする。

さらに、今年度はプラン2015の中間年にあたり、めまぐるしく変化する社会情勢も見ながら、諸課題をさらに前に進めていくためプランの見直しを行う。

＜基本方針＞

上記の現状と課題に対する認識を踏まえ、今年度は、以下のことを中心に取り組む。

2 地方創生の加速前進

- 人を大事にし、人を育てるため、「子育て満足度」、「健康寿命」、「障がい者雇用率」の3つの日本一を目指した政策の構築
- 「人」が留まり、あるいはUIJターンなど新たな「人」を呼び込む魅力ある「仕事」づくり
- 「人」と「仕事」の組み合わせによる魅力的で活力ある地域づくり

3 新規又は拡充の取組等

【安心】

- 子育て満足度日本一の実現
 - ・3歳未満児の保育料助成による経済的負担の軽減
 - ・育児休業や育児短時間勤務の取得促進による子育てと仕事が両立できる環境づくりの推進
 - ・放課後児童クラブの整備加速、運営支援による量と質の拡充
 - ・児童虐待防止に向けた関係機関の連携と児童相談所の法的対応力の強化
- 健康寿命日本一の実現
 - ・高齢者の生活を支えるための先端技術の活用検討
 - ・ノーリフティングケアやICTの導入による介護現場の働き方改革の推進
 - ・温泉を活用した「こころの健康・リフレッシュ」に繋がる温泉ウェルネス推進プログラムの創出とソフトエビデンスの収集・活用
- 障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進
 - ・ICT活用等による通勤困難な障がい者等の在宅就労の支援
 - ・県立学校及び教育庁ワークセンターにおける雇用を通じた特別支援学校高等部卒業生等のキャリアアップ支援
- おおいとうつくし作戦の推進
 - ・日本ジオパーク全国大会開催によるジオパーク活動のさらなる推進
 - ・ラグビーワールドカップ2019™大分開催におけるカーボンオフセット等、県民総参加によるCO₂削減取組を促進
- 安全・安心な暮らしの確立
 - ・横断歩道における歩行者優先の徹底や歩行者も含めた交通マナー向上
- 移住・定住の促進
 - ・福岡県向けの対策を強化するための拠点設置と福岡在住者の県内就職誘導
 - ・住居の取得や賃貸、店舗開設等に対する移住者向け支援
- 災害に強い社会づくりと県土の強靱化による防災力の強化

- ・防災アプリの普及や防災モニターの活用推進、VR技術による防災教育の充実
- ・降雨の激化傾向を踏まえた河川の計画流量の見直しによる抜本的な治水対策の推進
- ・耶馬溪金吉川流域の山腹崩壊評価手法の確立や山腹崩壊危険地区の点検

【活力】

- 農林水産業の構造改革の加速と戦略的なマーケット対策
 - ・機械化一貫体系導入などによる水田経営から大規模露地野菜生産への転換
 - ・園地の移転拡張など日田梨創造的復興プロジェクトの取組支援
 - ・ICT等を活用した生産技術の分析・共有などスマート農林水産業の促進
 - ・おおいた和牛日本一プロジェクトの着実な実行
 - ・女性経営者の確保に向けた「おおいた農活女子プロジェクト」の始動
 - ・原木乾しいたけの新たなブランド戦略による消費拡大
 - ・新型いけすの開発などによる養殖クロマグロの赤潮対策
 - ・第45回全国育樹祭（2021年）の招致
- 多様な仕事を創出する産業の振興と人材の確保
 - ・移住起業家の創出や地域課題解決型の起業支援、都市圏との交流支援
 - ・伴走型支援を行う商工団体の体制強化及び事業承継の円滑化
 - ・インバウンド消費獲得に向けたキャッシュレス化加速、魅力ある商品開発等
 - ・離島等の条件不利地域など、企業立地の少ない地域への誘致推進
 - ・様々な業種における働き方改革の取組の深化
 - ・県内就職促進に向けた高校生へのきめ細かな企業情報の提供と県内中小企業の採用力向上研修の実施
 - ・外国人労働者の受入環境整備に向けた共生のための情報提供や相談窓口設置
 - ・アバターを活用した観光や科学技術教育等のプロジェクト創出などの支援
 - ・姫島ITアイランド構想の実現に向けた先駆的なプロジェクトの推進
 - ・ドローン等を活用した社会実装に向けた実証実験、ドローン産業拠点化推進
- 女性の活躍推進
 - ・キャリア形成に向けた事業主支援や女性管理職育成等のためのセミナー開催
- 人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進
 - ・欧米・大洋州へのプロモーションと情報発信強化
 - ・大分県版自転車活用推進計画に基づくサイクルツーリズムの推進
- 海外戦略の推進
 - ・県内大学と連携した留学生OBネットワーク等の活用
- 活力みなぎる地域づくりの推進
 - ・ナショナルブランドを生かした、インバウンドを含めた交流人口を呼び込む地域づくりの促進

【発展】

- 「教育県大分」の創造
 - ・小学校高学年における教科担任制の試行
 - ・幼児教育センターの設置による研修一元化と人材育成
 - ・人口減少社会の教育課題に対応した遠隔授業の導入に関する調査・研究
 - ・くじゅうアグリ創生塾を拠点とした農業教育の活性化、既卒者を含む工業系高校生の県内就職に向けた支援の強化、新たな土木系学科の設置による人材育成
 - ・特別支援学校における自校式給食施設の整備
- 交通ネットワークの充実等
 - ・東九州新幹線の整備計画路線格上げに向けた取組の推進
 - ・別府港のターミナル再編、大分港大在地区のふ頭再編など、九州の東の玄関口としての拠点化に向けた取組
 - ・大分空港へのアクセス向上のための海上交通の検討
- 芸術文化による創造県おおいたの推進
 - ・ラグビーワールドカップ2019開催期間の現代アート作品展示や芸術文化活動等による、観戦客のおもてなし、本県PRの促進
 - ・芸術文化による地域おこしに向けた取組
- スポーツの振興
 - ・ラグビーワールドカップ2019の感動共有とレガシー継承

4 予算特別枠「おおいた創生加速前進枠」

少子高齢化、人口減少の大波は深刻であり、あらゆる手を打って改善し、歯止めをかけ、「安心・活力・発展」の大分県づくりを基軸にして、大分創生の取組の加速前進を図ることとし、このための予算特別枠「おおいた創生加速前進枠」を設け、「安心」「活力」「発展」の3つのテーマに該当する新規事業を通常の予算枠とは別に要求できることとする。